

音楽部による圧巻のステージ 第69回定期演奏会



11月30日(日)、学習院輔仁会音楽部による第69回定期演奏会が行われた。音楽部全員で作り上げる1年で1番大きな演奏会。指揮者に中田延亮氏、テノールソロに隠岐速人氏、バスソロに後藤春馬氏、ゲストにハーピストの新坂拡子氏を迎えた。賛助のOB・OGを含め、総勢約200名の豪華ステージ。音楽部による圧巻のパフォーマンスに迫る。

チヤイコフスキーアルプチーニタリア奇想曲「ブツチーニ作曲／グローリア・ミサであります。総務委員長の近藤栄恵さん(経3)に曲への思い入れについて伺った。

「特に思い入れのある曲は合唱団と管弦楽団が合同で演奏したグローリア・ミサです。ブツチーニらしいオペラを連想させる、莊厳でかつエネルギーに満ちた曲です。

私たちの思い出の曲となりました」と教えてくださいました。近藤さんは演奏での意識について「今年1年間、3年生はこの演奏会のために「共志共奏」という目標を掲げ、運営してきました。この言葉には「音楽の経験値や音楽をする意義は違えど、お客様に対する同じ志を持つ演奏会に臨む」という意味が込められています」と話された。また「担当者が始まったときは、まだ自分が打ち解けられない部分もあり、やりとりを感じることもありましたが、日々切磋琢磨する中でお互いが心強い仲間となりました。演奏の最後にはたくさん拍手をいただき、お客様に良い音楽を届けることができたのだと思感することができました」と観客へ

最後に、管弦楽団責任者

が語った。

「さくまサンを愛する会」が吉周年記念館で行われ上演奏している音楽部に、それから先のみで好きにならぬかけに

なことは全くありません。それが大学生なのでそんなが大學生なのでそん

なことは全くありません。それが大学生なのでそん



発行所
学習院大学新聞社
〒171-8588 東京都豊島区目白1丁目5番1号
黎明会館316号室
発行人・編集人
井上 愛梨
年間500円



2時間の価値とは?

紙面紹介

4硬式庭球部特集
男女ともに4部昇格!

3南米の新年の過ごし方

学習院大学新聞社



@gakushuinpress
一緒に新聞を作りませんか?
新入部員随時募集中!
気軽にfollow me!

第44回経済学部 同窓会開催

11月15日(土)西周年記念館

にて、第44回経済学部同窓会

が行われた。本同窓会の

講演会は元学園院長であ

る内藤家(現在の内藤家)

員、また旧学園長(現在の

東洋史・西洋史の3分野を

4年は4年生演説で学生に

わざることもある。それら

は4年生演説で学生に

わざることもある。それら

は4年

ビーチを彩る 祈りの夜

硬式庭球部女子



風時見栄格

硬式庭球部女子は、2025年9月12日から同月28日までの間、有明テニスの森テニスコートを中心として行われていた関東大学テニスリーグ（通称：リーグ戦）に出場し、見事4部昇格を果たした。リーグ戦には、5部までが存在しており、1から4部までと、5部では大きな違いがあるという。

1から4部までは各6校で構成されており、総当たり戦で各順位を決める。一方で、5部は20校以上の大学が所属しているため、複雑な手順が必要となる。最初に、いくつかのブロックに分けられ、総当たり戦を行う。その中から1、2位となつた大学が決勝トーナメントへ進み、優勝か準優勝になると、4部への入れ替え戦の挑戦権を得ることができる。入れ替え戦は、上の部の下位にあたる2大学と、下の部の上位2大学それぞれ戦い、残留か昇格かを争う、まさに下剋上が行われる試合のことである。本学は5部のブロック総当たり戦を勝ち抜き、さらには決勝トーナメントでも過酷な戦いを制し、優勝を飾った。続いて4・5部入れ替え戦では、4部6位だつ



硬式庭球部女子 岡田 桃奈主将(国3)

喜色滿面

した硬式庭球
将の岡田桃奈
）はその勝因
の高さにある
。選手は自分
集中し勝利へ
。その他の部
応援しサポー
年かけて積み
総合力が実つ
る。去年、一
いところでチ
していだ
い」と笑顔を見せた。
中学、高校とテニス部に
所属していた岡田さん。明
るい雰囲気に惹かれ大学で
もテニス部に入ることを決
めた。入部して気づいたの
は「戦術」で戦うことの重
白さだと話す。「高校の時
は何年やっているか、どの
の学校に所属しているかが大
きな気がしていた」とい
うが、大学に入って「強い
球を打つことが全てではな

くてど」に何をじういうタ
イミングで打つのかという
戦術がないと勝ち上がれな
い」ことを学んだ。戦術を
考えて試合を組み立てれば
勝つことができる。岡田さ
んにとつてそのスタイルは
強い追い風になっていた。
平日は2回のナイター練
習、土日には練習試合や大
会が組まれることも少なく
ない。ハードな練習量に当
初は戸惑つたと話す。しか
し、今では部活と勉強の切
り替えを身に付け、部活に
取り組む時間も充実するよ
うになった。彼女の落ち着
いた佇まいもそこから生ま
れるものなのだろう。

最後にこれからに向けた
決意をお聞きした。「今年
は人数が減り、リーグに出

ていたメンバーも減っ
たので、下を持ち上げ、
体を持ち上げるという
えのもと活動している
全員がレベルアップで
るような環境を作つて
の夏には3部に昇格を
たい」と意気込む。ま
先輩と組んで本戦に出
できたという春の試合
触れ、「今度は自分の
でシングルスもダブル
も後輩と組むにしても
戦という大きな目標に
かつて頑張りたい」と
つた。

主将として部員をま
める一方、自分のプレ
にも全力で取り組む岡
さん。今後のさらなる
躍に期待が高まる。



古くから王侯貴族たちに親しまれてきた競技であるテニス。近代テニスは、1873年にイギリス陸軍のウイングフィールド大佐が考案した。そのわずか約30年後の1902年に、学習院硬式庭球部が創設された。現在は創部123年と、本学のなかでも屈指の歴史と伝統を誇る。

その本学硬式庭球部が、2025年関東大学テニスリーグにて、4部へ男女同時昇格を果たした。ここから、古豪の新たなる歴史が幕を上げる。

冬の冷たい風が吹き抜
る寒空の下、乾いた打球
が響いていた。

12月4日、本学硬式テ
ニスコートにて、硬式庭球
男子の練習が行われて
た。今年、関東学生大学
ニスリーグ5部1位を獲
した本学の硬式庭球部
子。入れ替え戦では、東
農業大学を相手に勝利し
悲願の4部昇格を果た
た。4部昇格することで
力は関東の大学の中でも
ツブ18%に食い込む。

今回は、4部昇格を支
た主将の森健人さん(管)

二 部 源音 洋子
三 ト 得 勝 京 実 え
人、マネージャー2人の会計20人で週4回活動している。練習では、学年関係なく実力順に分かれシングルスでの、ボレイ、スマッシュなどを行う。シングルルーチンがしつかりしていないとダブルスができるないというところ、シングルスを中心にしてトレーニングを行っているそうだ。基礎を怠らず、練習することで技術向上を図っている。

テニスの魅力として、森さんは、緊張感と自己完結

に自己完結性があるという。また主将として、チームを率いる中で大切にしていることを伺つたところ、「実力やチームへの貢献、練習での姿勢などで、背をみせることです」と熱く語ってくれた。また、金貴が1つの目標に向かって、くためには、部員一人ひとりと信頼関係を築くことが大切だという。来年2月に行われる関東学生新進テニス大会に対しても「まず次予選を勝ち上がり、一次



ダブルス練習中の真剣な眼差し



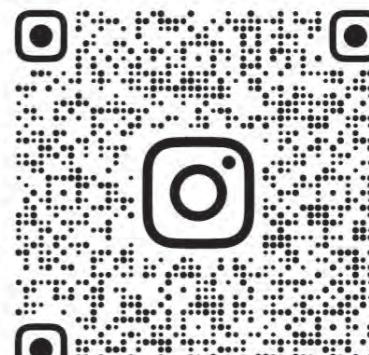
A black silhouette of a cat sitting on the right side of the page.

瞬であつた。時間がこのまま止まれいいなど何度重つたことか。▼しかし、夫との時間に重きを置きて学業を疎かにしていたというわけではない。私はこの1年間、自分なりに立ちを心掛けてきた。私が在籍している教育学科では、小学校教員を目指す学生が多いということもあり、卒業や模擬授業をする機会が他の学部学科よりも多くなっている。またそれに加え、通常の講義にあると、うな課題も課される。やるべきことが多い分、とてもやりがいがある日々だ。そんな毎日を友人との時間の大目にしながら過ごしていくためにはやはりスケジュール管理が重要だ。高校生の時にあれほど嫌がついたスケジュール帳。今では自ら記入するようになり、私の相棒となつた。2026年はどんな年になるのだろうか。来年度は早いことから後悔がないように、大学生生活も折り返しを迎える。人生は一度しかないのだから後悔がないように過ごしたい。まだ予定があり書き込まれていない新たな相棒を横目に、私は用意を馳せるのだった。(愛)

2025年も大詰めだ。今年を振り返ってみた時、私は「友人との絆が深まつた年」だと感じた。昨年は入学したばかりで、高校とは違つ環境に慣れることで必死だった。授業や課題に追われ、気が付いたら冬休みだった。私はこのタイミングで自分の大学生活を見直すことにした。2024年は慌ただしかつたが、それでも月日が経つにつれて自分の心に余裕ができるようになった。私はこの余裕を友人関係に使いたいと思った。そして迎えた2025年。私は思つていた以上に、たくさん時間を使友人と過ごすことができた。空きコマや昼休みはもちろん、カフェでたくさん話したり、東京ディズニーランドに行つたりもした。特に大人数でのテーマパークは初めてでドキドキしたが、1日中盛り上がり、閉園時間までが一

ピクニッカラブ

参加者募集します！



©PICNIC.GU
DMお待ちしております！